
白い杖の少女

カラシニコフ a.k.a AK-47

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白い杖の少女

【Nコード】

N2446J

【作者名】

カラシニコフ a・k・a AK-47

【あらすじ】

出会いですよ出会い、あーどこかに素敵な出会いは落ちてないですかね

ブンブンブンブーブンブンブー（湘南コール）

きやあー今日のバブ（ホーク？）は最高のコンディションだ、今ならラグナ・セカのコークスクリューも難なく走り抜けれそうな勢いだぜ、今の俺に追い付けるのは全盛期のエディ・ローソンかケビン・シュワンツぐらいなもんだ

もしかしたらスピードの向こう側ってやつも見えるかもしれないねえ

「前の暴走バイク、止まりなさい」

おいおいパトカーかよ、まあパトカーなんかには捕まらないけどね、よし必殺の路地裏ピットインだ

後ろを振り向き確認するとパトカーは曲がりきれずにそのまま直進、ハハッざまあ

既にこの時に失敗をしています、重大な失敗を、狭い路地裏をバイクで走ってるのに振り向いてパトカーを確認、ここで何か起きないと物語は終わってしまうので残念ですが…

エエー、パトカーを振り切ったのを確認して前を見たのはいいけど
何でそこに人？何でそんな真ん中を歩いてるの？

あ、無理だはつつく（転ける）

「ガシャーン」

「キャアー」

痛てー、てゆうか人だ人、大丈夫か？

あつ、何とか大丈夫ぽいな、同い年ぐらいの女の子が道の端っ
こでヘタレこんでた

「おいアンタ大丈夫か？」

「…」

「もう少し端を歩かないと危ないよ」

「…ごめんなさい、あともう一つ申し訳ないのですがそこら辺に杖がないでしょうか？」

「えっ、あんた目が…」

「結婚してくれ」

「でも私は目が…」

「この先ずっと俺がお前の目になってやるよ」

てなるのは数年後の話

- 了 -

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2446j/>

白い杖の少女

2011年2月2日16時04分発行